

公園緑地功労賞

公園緑地功労賞は、我が国における公園緑地事業及び都市緑化事業の実務に多年従事して功労があり、かつ他の模範となる方に贈呈される賞で、平成４年に設けられました。国、地方公共団体及び公益法人等の職員として公園緑地事業及び都市緑化事業の実務に20年以上携わり、年齢が65歳以上の方を選考の対象としています。

第34回公園緑地功労賞受賞者（敬称略・五十音順）

あらはら のぶはる

荒原 伸治

元 横浜市環境創造局農政部長

現 横浜市緑の協会常務理事

受賞理由

氏は、旧伊藤博文金沢別邸を擁する野島公園の再整備や、旧ドリームランド跡地を活用した俣野公園の整備など、多くの公園づくりに尽力した。全国都市緑化よこはまフェアでは担当課長として特に郊外部の会場整備を指揮し、フェアのレガシーとなった里山ガーデンの大花壇など、現在につながる横浜の豊かな緑の空間を創造した。さらに、GREEN×EXPO 2027の会場となる旧上瀬谷通信施設用地の環境影響評価にも携わり、事業化に多大な貢献を果たした。現在は横浜市緑の協会常務理事を務め、日本最大級の園芸イベント「横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル」では実行委員会の役員として、最前線で活躍している。

いりべ くにあき

入部 國昭

元 財団法人北九州市都市整備公社（管理課長）

北九州東部緑地管理株式会社代表取締役

受賞理由

氏は、職員時代、主に都市基幹公園の整備に携わり、市を代表する勝山公園や響灘緑地、夜宮公園、山田緑地、瀬板の森公園などの計画・設計・整備に携わったほか、洞海湾を囲む工場群の緑化事業と緩衝緑地の連鎖によるグリーンネックレス構想の推進や、緑の都市賞応募書類作成（受賞）や北九州グリーンプラン（緑の基本計画）の作成にも参画した。係長・課長時代には、住宅都市整備公団で中国・四国9県の公園緑地の設計・施工の受託を担当したほか、北九州市都市整備公社で維持管理の総括に携わった。これらの経験から、市役所退職後も市の公園・街路樹を維持管理部門において実務に携わった。

かわさき あつひろ

川崎 淳裕

元 名古屋市緑政土木局参事（農政担当）

現 公益財団法人名古屋市みどりの協会常務理事

受賞理由

氏は、名古屋市において一貫して公園緑地行政に携わり、長期末整備公園緑地の着実な事業推進や関係権利者の生活設計のため事業着手時期を定めた整備プログラムを策定・公表するとともに、街路樹の更新・撤去等の考え方を示した街路樹再生指針の策定、民間活力を導入した農業公園の再整備など、名古屋市の公園緑地行政の発展に寄与された功績は多大である。また、現在は、公益財団法人名古屋市みどりの協会において、都市緑化・公園緑地の振興に努めている。

かわた いちろう

川田 一郎

元 香川県栗林公園観光事務所造園課長

受賞理由

氏は、昭和60年に香川県の造園職として採用以来、都市公園の整備や維持管理に尽力された。特に栗林公園では、特別名勝に指令されている文化財庭園としての本質的価値を保存するための樹木等維持管理指針を策定するとともに、造園課長として栗林公園の魅力を顕在化する施設整備や古建築物の保存修理、維持管理等に力を発揮するとともに、運営面においても和船周遊運航の立ち上げに尽力するなど多大な功績を残された。

ほそや じゅんこ

細谷 順子

現 公益財団法人船橋市公園協会船橋市アンデルセン公園園長

受賞理由

氏は、財団法人船橋市緑の基金において、船橋市の緑化の普及啓発、緑化活動支援事業に従事。平成20年4月より船橋市アンデルセン公園園長に就任。企業花壇を誘致し、季節を問わず、常時150種類10万株の草花を楽しめる公園作りに寄与。また、国際交流にも尽力し、平成23年にはアンデルセン賞委員会から「H.C. アンデルセン賞」を日本で初めて受賞した。平成27年にはトリップアドバイザーで日本のテーマパーク3位に選ばれるなど、長年魅力的な公園運営に尽力している。

みやざと まさとも

宮里 政智

元 一般財団法人沖縄美ら島財団総務部参事

現 農業生産法人株式会社沖縄美ら島ファーム専務取締役

受賞理由

氏は、長年にわたり国営沖縄記念公園の管理運営に携わり、沖縄の特殊環境に適した植物と基盤材料の選定、並びにラン類の露地植栽手法の確立に尽力された。また、公園内の既存林地の動植物調査を通じた環境保全及び環境教育の推進にも積極的に取り組まれた。さらに、緑化植物園の管理運営にも深く関わり、緑化樹の台風被害軽減、カンヒザクラの開花調節や腐朽診断、校庭の芝生化の普及に向けた調査、並びに『熱帯・亜熱帯の都市緑化植物図鑑』や『熱帯くだもの図鑑』の執筆、ラン栽培教室の講師など、多岐にわたる取り組みを通じて、地域の緑化推進に大きく寄与された。

やまだ ただゆき

山田 忠行

元 一般財団法人公園財団海の中道管理センター管理センター長

受賞理由

氏は、国営武蔵丘陵森林公園をはじめ全国の国営公園（木曽、飛鳥、明石、越後、まんのう、海の中道等）の管理運営に携わり、植物管理・施設管理を中心に、安全で安心して利用できる公園づくりに尽力された。また、国営讃岐まんのう公園や国営海の中道海浜公園では管理センター長として尽力され、イルミネーションイベントや花修景による公園を核とした地域の魅力づくりと都市公園の価値向上に寄与した功績は大きい。

（役職は、令和8年3月31日現在）